

## 来月の消費予報

**消費意欲指数は56.1点。低調が続いた前月までとは一転、2012年4月の調査開始以来、歴代2位の高スコアとなりました。**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

12月の消費意欲指数は56.1点で、前月比+9.4ポイント、前年同月比+0.7ポイント。例年通り、消費意欲指数が高い月となっています。

### 12月の消費意欲指数



↑ 前月比 **+9.4** ポイント

↑ 前年同月比 **+0.7** ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇    ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(12月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

### カテゴリー別 消費意向



★ UP : 前年同月比で20人以上増加

● DOWN : 前年同月比で20人以上減少

「来月(12月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。 ※詳細は4ページ  
2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

### 12月のポイント

#### Point 1 : 12月は環境に左右されない安定の月。今年も最高水準の消費意欲指数

12月はボーナスシーズン、クリスマス、年末年始を迎えて、消費意欲が最も高まる月であり、2012年の調査開始以来55~56点台の安定的に高い消費意欲指数が示されてきました。今年も11月までは、前年同月を下回る月が続きましたが、12月は2014年12月の56.7点(2012年4月の調査開始以来最高値)に次ぐ歴代2位の値にまで上昇しています。どのような経済環境、社会環境にあっても、12月はそれに左右されにくい特別な月のようです。

消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「クリスマス、年末年始の買い物」や「クリスマスプレゼント、お歳暮などの贈り物」など、季節ならではの出費を挙げる声は前年より増えています(15年12月298件→16年12月369件)。

#### Point 2 : 消費意欲は高まっているものの、具体的な使い道は未定

特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合は41.5%で、前年とほぼ変わりませんが(+0.2ポイント)、カテゴリー別の内訳を見ると、ファッション以外の多くのカテゴリーが前年より減少しています。これは、買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合は同じでも、各人が具体的に買いたい・利用したいと答えた品目の数が少なかったことを示しています。

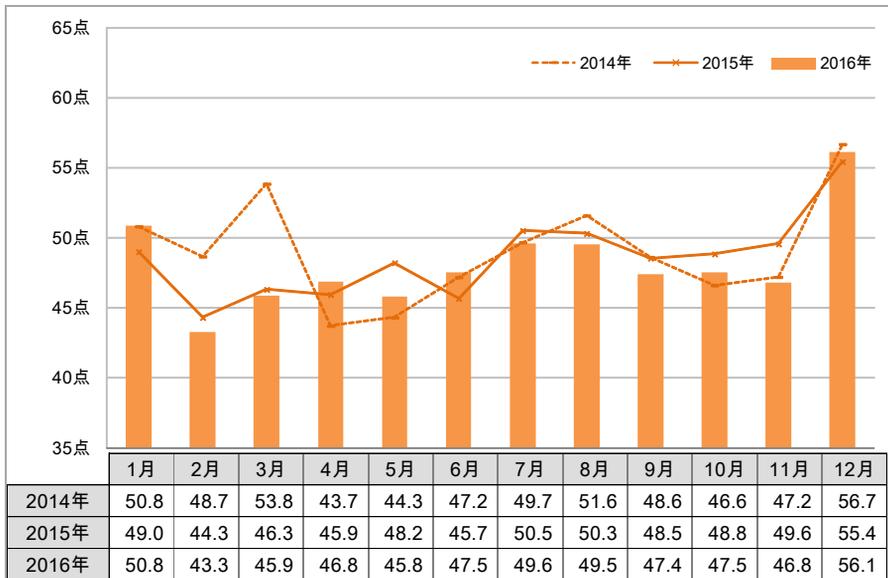
今年の特徴として、12月くらいは何かに出費したいけれど、具体的な使い道はまだ決まきっていない人が多いと考えられ、実際の消費が伸びるためには、各カテゴリーがどれだけ需要を喚起できるかが鍵となりそうです。

消費意欲指数

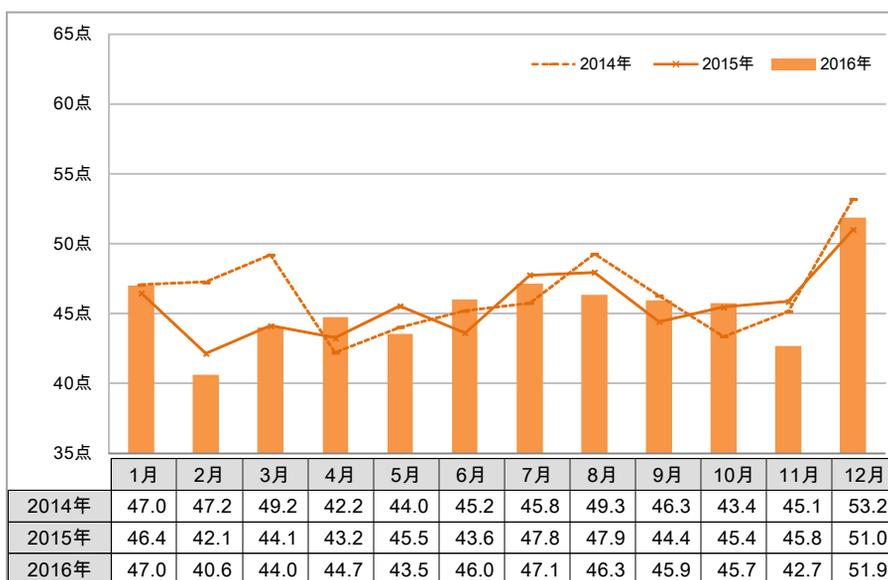
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(12月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

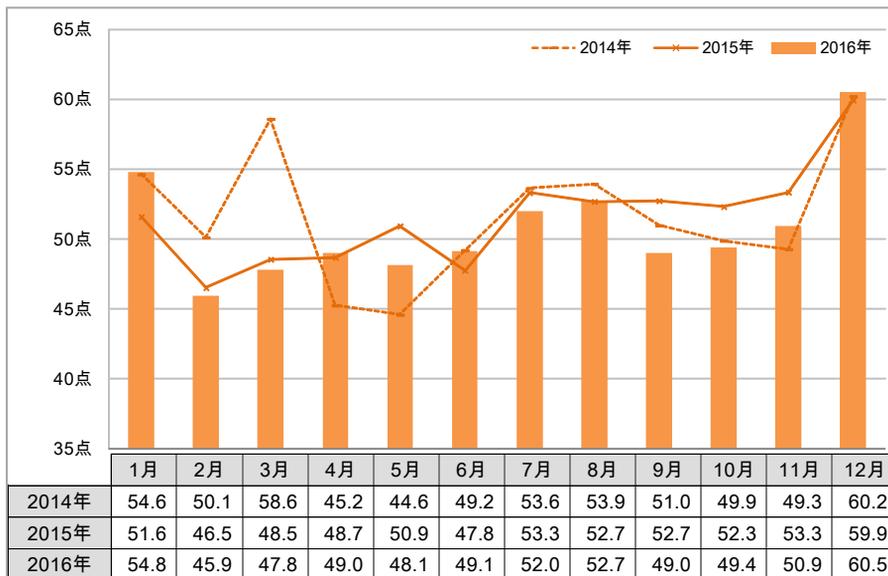
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【季節的な消費意欲up】>

- ・年末なので財布の紐が緩んでも仕方がないと思うので(70点・男性26歳・東京都)
- ・12月はボーナスもあり、年末の高揚感とともに消費意欲が増す(90点・男性39歳・埼玉県)
- ・ボーナス時期でもあり、年末を迎えるにあたり、買っておきたい季節性の強い物も頭の中で考えているため(90点・男性43歳・愛知県)
- ・孫へのクリスマスプレゼント、ケーキそして正月の準備(80点・男性58歳・岐阜県)
- ・ボーナスのない人生になったが、年末・年始の準備、お歳暮等色々なを買う季節になったため(80点・男性66歳・大阪府)
- ・節約しなきゃと思いつつも、クリスマスシーズンで衝動買いしそう(80点・女性29歳・東京都)
- ・クリスマスや年末年始、1年で一番出費の多い時期。買いたいものがたくさんあるが、慎重に買い物したい(70点・女性32歳・千葉県)
- ・ボーナスが入る。クリスマス限定の商品(化粧品や雑貨)が販売される。年末年始用に高めの食材がほしい(95点・女性44歳・大阪府)
- ・自分のことはあまりないが、クリスマスプレゼントなど、人にあげるものを消費するであろうと思う(70点・女性57歳・大阪府)
- ・12月は歳暮やクリスマスと、交際費の嵩む月であるが、年金収入は限られているので、意欲と実消費の間には齟齬がある(70点・女性67歳・千葉県)

( )内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(12月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2016年12月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	41.5	+12.9	+0.2
男性	34.2	+ 9.2	+0.3
女性	49.0	+16.8	+0.2

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(623人)

順位	カテゴリー	12月(人数)	前年同月比
1	ファッション	364	+20
2	食品	324	+ 1
3	外食	265	-23
4	飲料	185	- 9
5	旅行	176	- 1
6	書籍・エンタメ	139	-29
7	家電・AV	129	-12
8	化粧品	128	- 1
8	日用品	128	- 9
10	理美容	125	-24
11	レジャー	119	-31
12	装飾品	103	-24
13	インテリア用品	79	-23
14	パソコン・タブレット・周辺機器	62	- 9
15	スマートフォン・携帯電話	48	-10
16	車・バイク	46	- 7

【男性】(258人)

順位	カテゴリー	12月(人数)	前年同月比
1	ファッション	125	+12
2	食品	109	+ 6
3	外食	85	-11
4	旅行	77	+ 9
5	飲料	75	- 1
6	書籍・エンタメ	73	- 5
7	家電・AV	65	-11
8	パソコン・タブレット・周辺機器	48	- 7
9	レジャー	46	- 6
10	装飾品	40	- 9
11	インテリア用品	35	+ 5
12	車・バイク	34	-10
13	日用品	33	+ 1
14	スマートフォン・携帯電話	32	- 7
15	理美容	29	+ 4
16	化粧品	14	+ 8

【女性】(365人)

順位	カテゴリー	12月(人数)	前年同月比
1	ファッション	239	+ 8
2	食品	215	- 5
3	外食	180	-12
4	化粧品	114	- 9
5	飲料	110	- 8
6	旅行	99	-10
7	理美容	96	-28
8	日用品	95	-10
9	レジャー	73	-25
10	書籍・エンタメ	66	-24
11	家電・AV	64	- 1
12	装飾品	63	-15
13	インテリア用品	44	-28
14	スマートフォン・携帯電話	16	- 3
15	パソコン・タブレット・周辺機器	14	- 2
16	車・バイク	12	+ 3

■ : 前年同月比で20人以上増加

■ : 前年同月比で20人以上減少

※2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

## 調査概要

### ■ 質問項目(質問文)

#### [消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(12月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)  
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

#### [特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(12月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)  
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

**調査概要** 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

**調査地域** ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

**調査対象者** 20～69歳の男女

**対象者割付** 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

**サンプル数** 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	119	154	187	140	155	755
女性	114	150	181	138	162	745
合計	233	304	368	278	317	1,500

**調査方法** インターネット調査

**調査時期** 2016年11月4日(金)～8日(火)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

**調査機関** 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

#### <備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

**問い合わせ先** 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450  
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

**データ公開** 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2016-12/>)からダウンロードしていただけます